

成人用肺炎球菌ワクチン(商品名:ニューモバックス、プレベナー13)

成人用（65歳以上）の肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌による肺炎になりやすい高齢者、心、呼吸疾患や糖尿病、腎不全の方に接種をお勧めします。成人の肺炎球菌ワクチンには23価（商品名：ニューモバックス）と13価（商品名：プレベナー13）の2種類があり、それぞれ長所・短所があります。

23価肺炎球菌ワクチンのみが、65歳以上の高齢者を対象とした定期接種となっていますが、13価のワクチンは防御範囲はやや狭いものの、1回の接種で免疫に記憶が残り、長期間予防効果あるため、当院では併用をお勧めしています。

2つの肺炎球菌ワクチン(成人用)の比較名称	ニューモバックス (PPSV23)	プレベナー13 (PCV13)
料金	8,800円	11,000円
血清型抗原の種類	23価 23種類の肺炎球菌の血清型抗原を含む。 肺炎を起こしやすい肺炎球菌の約80%をカバーする。	13価 13種類の肺炎球菌の血清型抗原を含む。 肺炎を起こしやすい肺炎球菌の約60～70%をカバーする。
接種の種類	・定期接種 65歳から5歳刻みの人が対象(公費助成あり) ・任意接種 上記以外の年齢(公費助成なし)	任意接種 65歳以上(公費助成なし)
特徴	カバーできる範囲が広い	免疫誘導能力が高い
再接種	5年ごとに接種可	不要

定期接種（ニューモバックス）近隣市の助成について

鹿嶋市・神栖市・潮来市・行方市・銚田市など 3,000円の公費助成
定期接種の対象は65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる年度の方ただし、以前に同ワクチンを接種したことがある方は対象外となります。

接種間隔について

先に13価のワクチンを接種した後、半年以上空けて、23価のワクチンを定期接種として接種するのが一番のお勧めです。

先に23価のワクチンを接種された方は1年以上空けて、13価のワクチンを接種。13価のワクチン接種から半年以上また23価のワクチン接種から5年以上空けて、2回目の23価ワクチンを接種される方法もお勧めです。